

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4270104500 | | |
| 法人名 | 有限会社 ゆう | | |
| 事業所名 | グループホーム GARDEN-HOUSE | | |
| 所在地 | 長崎県長崎市宝栄町4-19 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年1月26日 | 評価結果市町村受理日 | 平成22年5月25日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉総合評価機構 |
| 所在地 | 長崎県長崎市桜町5番3号 大同生命長崎ビル8階 |
| 訪問調査日 | 平成22年3月5日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『家族の一員として、皆で楽しく生活しましょう』をモットーに、高齢者の共同生活の場として、恵まれた環境の中、介護職員が24時間皆さんと一緒に生活をします。入所された方の能力に応じて、料理、選択、掃除をしたり、一緒に買い物に行ったり、花を植えたり、ごく普通の生活をする事で毎日を『笑顔』で楽しく充実した生活を過ごしていただきたい、それが『グループホームGARDEN-HOUSE』の願いです

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念である「笑顔」は利用者や家族、職員間、又地域の方など触れ合う人達、全てにおいて大切と考えている。朝の申し送り時の最後に「今日も一日笑顔で」を唱和して実践に繋げている。利用者と一緒に生活する中において、言葉かけや行動においても笑顔で接している。利用者と家族、職員は会話する事が多く、家庭的な雰囲気や大事にしている。家族からの意見や要望を聴き取り組みがなされており、出された意見や要望はその場限りの対応に終わらず、介護記録に記載し、継続して対応するなど支援がされている。利用者自身が共有部分の掃除や片付け、畑の手伝いなどをしており生活に張り合いを持っている。代表者、管理者自らが民生委員や消防分団員として地域貢献活動を行い地域住民との繋がりを持っており、利用者が地域と交流が出来るように支援をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | <input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念である『笑顔』を基本に、全職員により取り組み、入居者・家族・地域の方たちとのふれあいを実践している。 | 理念である「笑顔」は、利用者はもちろん、職員同士、家族に対しても笑顔で接している。毎朝の申し送りの最後に「今日も一日笑顔で」を唱和している。日々の生活において、職員間で気づいた事はその場で注意し合うなど理念を共有化して実践に繋げている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 地域の方に、日常的に挨拶や畑で出来た野菜等の収穫時に配ったりと近所付き合いをやっている。 | 代表者や管理者は民生委員や消防団員として地域貢献活動をしている。保育園児や中学校の職場体験の受け入れや地域の自治体の行事参加をしている。中庭で作っている野菜を近隣に配布するなどして交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域中学校の研修の受入れや、他研修の受入れ、保育園児との関りを通して、認知症の理解や支援方法を伝え活かしている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議時には毎回ホームからの報告等の後に、出席して頂いている方々から、ご質問や提案、ご意見を頂き、サービスの向上に活かしている。 | 運営推進会議は3ヶ月に1回実施している。利用者の様子、外部評価、研修報告などしており、参加者全てから意見、質問が出ている。家族からの要望で、検討内容としてターミナルケアについての説明をするなどして、サービス向上に努めている。 | 運営推進会議は3ヶ月1回の実施である。運営推進会議は外部の人を通して意見交換を行い、地域の理解や支援を得るための場として貴重な場である。今後は2ヶ月1回の実施が望まれる。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議開催以降、相談及び情報交換を行い、協力関係を保っている | 管理者が連絡協議会の委員をしている。又運営推進会議開催以降、常時相談や情報交換がされている。集団研修会の実施や市からの投げかけで、懇談会が開催されるなど、お互い協力関係作りがされている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 全職員、身体拘束排除マニュアルを作成し、身体拘束での弊害などの勉強会も行っている。 | 身体拘束をしないのが当然であると考えている。職員は身体拘束排除マニュアルを基に勉強会を開催している。言葉かけにおいては、口調や言い回しなどにも注意をしている。ベッド柵や玄関の施錠もなく、職員間で見守りがされている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止関連法の勉強会の実施、新人社員にも適宜研修を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護の利用者、成年後見制度の利用者もあり、制度の意義を理解している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 都度ご家族の方とは話し合い、不安や疑問を解消した時点での契約を行っており、又何でも相談出来る雰囲気作りを行っている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関入り口に外部相談員の窓口設置を掲示している。 | 家族の意見や苦情が出しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。職員会議や、面会時には職員が家族と会話をしている。意見や苦情はその場限りで終わらず、介護記録に内容と対応を記載し継続的に家族と話し合っている。外部相談員の窓口は玄関に掲示している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員からの意見・提案は都度受けており、反映させている。又ミーティングや申し送りの時に意見や提案を聞き、反映させている。 | 職員の意見、要望、提案はその都度対応している。業務を遂行する上における職員の権利を尊重している。職員の提案により、洗濯機を購入している。その際、横に柵があれば使い易いとの声と一緒に購入するなどして意見を反映させている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々に面談を行い、職員からも意見や悩みを聴取し、その職員がやりがいと向上心を持って働けるように勤務時間の短縮等改善を図っている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個々の力量は把握しており、外部研修やホーム内での指導とトレーニングを進めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会の研修会等で、同じ地域のグループホームの方との意見交換をして、サービス向上の取り組みをしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所時は、ご家族からの今までの生活歴や、好きな食べ物や趣味などを尋ね、少しでも不安を取り除き、早く慣れて笑顔で過ごしていただけるように関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前までに、サービスの説明とご家族の不安な点や要望を伺い、関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、家族の希望を聞き、ホームでの見極めをし、必要なサービスがあれば対応に努める。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 全ての生活支援を一緒に行う事により、孤立することがないように配慮を行い、意欲的な生活が送れるよう支援している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人と家族の関係は大切にしており、ご家族の方への相談の申し入れや、相談を受けながら、共に支えていく関係を築いている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 個々に墓参り、散髪等の継続支援を行っている | 家族と相談しながら個々に応じて支援している。命日の墓参りや行きつけの美容室へ出かけている。利用開始前に利用していたデイサービスを訪問したり、カラオケ教室へ寄るなどしている。衣類の購入を希望の店に買い物に行くなど、関係作りの支援をしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々のプライバシーの保護を行いつつ、共同生活の楽しみも味わってもらうように、利用者同士の関係作りにも気を配っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス終了後も気軽に声を掛けてもらえる様な雰囲気と関係作りを行っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 尊厳の保持を大事にし、ご家族と職員とで生活支援を考えている。 | 一日の流れは決めているが個々に対応している。家族の面会時には利用者に関する情報を聞くようにしている。利用者とは昔の話をしたり、会話する中から希望や意向を把握するようにしている。困難な場合は、動作や表情などを見るなどして、個々に支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所前に要望を聞き入れ、その人らしい生活支援を行っている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | バイタルの他に、本人が見せるサインを見逃さないよう、日誌に記入し、全員が把握出来るように努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人と寄り添い、希望・要望を聞きながら、職員、家族、主治医と話し合いを行っている。 | 入居以前の情報を基に、利用者や家族の意見、要望を聞いている。利用者、家族が求める点と事業所が支援する点を確認しあっている。職員のミーティング時に情報収集を行いケアプランを作成している。短期、長期目標と3ヶ月1回の見直しをしているが、状況に応じて随時対応している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々記入しており、共有し実施し活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族の状況を考慮し、ストレス等がかからないよう一緒に話し合いをし、出来る限りの支援をしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 個々に対応し、安全で楽しむ事が出来るよう支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入所前からのかかりつけ医の受診を支援し、かかりつけ医が無い場合、家族と話し合いながら医療機関を決定し、支援している。 | かかりつけ医は継続している。かかりつけ医の受診は家族と共に職員も同行している。健康状態の報告や受診時の状況を確認している。近隣より看護師の往診もしている。夜中や緊急時対応の体制作りをして支援している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期的な訪問看護等はないが、状況の変化や、緊急時に各医院に連絡し、その時に応じ、訪問看護を受け入れられるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、病院との情報交換や相談に努め、安心できる入院生活を支援し、出来る限り毎日面会に行き、場所の変化で不穏にならないようにと支援を行っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時にホームの方針の説明をし理解をして頂き、状態変化時にも、家族、係りつけ医と話し合い、方針を共有している。 | 重度化や看取りに関しては管理者、職員全員で話し合い共有化しており、対応に関する指針を作成している。職員の勉強会を設けるなどしている。医療機関とも話し合い、医師との協力体制も出来ている。今後は運営推進会議の中で看取りに関する方針を説明するようしており、関係者全員で支援に取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルの作成と勉強会を行っている。また、外部で行われる研修にも参加している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害発生時は昼夜問わず避難できるよう対応しており、近隣に社長宅もあり地域との協力体制も築いている。 | 避難訓練は年2回その内1回は消防署立会のもと行い、夜間想定は2回実施している。訓練時は近隣の方や消防分団も参加している。職員は避難経路の確認、消火器の使い方訓練を実施している。近隣には代表者宅があり地域との協力体制も築いている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 気づきがあった場合には、職員同士で指摘し合い、目配り、気配り心配りを大切にしている。 | 入社時に職員へ守秘義務の徹底をしている。書類は外部の目の届かないところに保管している。利用者個々の人格を尊重した声かけや、言葉遣いに心がけている。利用者の人格を損ねないように日々職員は、皆で見守り、気を配る事に配慮がされている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自己決定が基本であり、意思表示が無い場合は、尋ねたり、本人本意で考え支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の希望が最優先ではあるが、不安なく『笑顔』で生活出来るような環境作りを心がけている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 行きつけの美容室に行ったり、ホームに美容師さんに来て頂き、好みに応じお洒落など出来る様に支援している。又、衣類も必要や希望に応じ、買い物に行き、選んで頂き購入している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 希望のメニューがあれば出来る限りの希望を取り入れ、個々の能力にあわせ、手伝って頂き共に準備や片づけをしている。 | 生活歴の把握と共に食したい物を聞いている。利用者の好みを聞きながら献立を作成している。買い物は一緒に買いに行き利用者を交えて作っている。食事は職員も一緒に行い、ほとんどの利用者が片付けを手伝っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分、栄養に関し、利用者の状態に応じ、カロリードリンクや嗜好品を摂取して頂き、健康管理の支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 個々に応じた口腔ケアを行っており、声掛け、誘導なども適宜行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 水分摂取量と排泄リズムを表にし、自立に向けた支援を行っており、個々の状況に応じ支援している。 | オムツをしない支援をしている。利用者の半数以上が自分でトイレをしている。食事前と食後の見守りと確認をしている。排泄リズム表にて個々の排泄時間などを共有している。声かけや表情を見ながらトイレ誘導を行うなど支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬と水分量の調節を行い、快適な生活を送ってもらえるように工夫している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 曜日と時間帯は基本的に決まっている。しかし、午前午後の希望や、入浴日以外の必要に応じた支援はしている。 | 入浴は週3回だが、希望があればその都度対応している。脱衣所が寒くならないようにヒーターなどの配慮をしている。入浴を拒む方は声をかけたり、話をするなど、個々の状況を見て対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 自己決定を主にし、自由な生活が出来るように支援を行い、個々に応じた休息が取れる様、サインを見逃さないように努めている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人一人がすぐ確認出来るように、服薬状況を表にしている。また変更時にも職員が分かるように日誌に記入している | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 自己決定を主にしているが、意欲的に生活してもらえるように楽しみやおもしろさを演出して同時に達成感を味わってもらうような支援を行っている、 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 個々の希望での外出もしており、職員との外出やご家族との外出など、都度支援している。 | 中庭での畑いじりや近隣まで買い物に出かける。衣類や日用品など物によって出かける場所を変えている。家族の面会が多く一緒に外出や食事、墓参り、美容院へ出かけている。利用者の希望や要望に応じていつでも出かけられるよう支援している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 『笑顔』ある自由な暮らしが出来るよう、家族、職員共に理解し、買い物等の支援も行っている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 気兼ねなく、電話が掛けられるような雰囲気作りを行い、家族や知人の関係の継続に努めている | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 空気清浄機、加湿器、芳香剤などの使用も行っており、快適な生活空間作りを支援している。 | 各ユニットでリビングに広さの違いはあるが、それぞれに季節感を表す手作り作品が貼付してある。又窓からは四季折々の景色が見える。共有の空間は空気清浄機や加湿器、芳香剤等を使用したり、掃除の徹底をするなど快適に暮らせるように支援している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 利用者同士で部屋を行き来されたり、物を渡したりされている。職員もより良い関係作りを支援している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に、使い慣れた家具等持込をお願いし、入居後も必要なものがあれば、使い慣れた物を持ってきて頂くようお願いしている。又入居後は職員と共に自分の部屋作りを行っている。 | 居室は家族とも相談しながら家具などの配置を行っている。使い慣れた物の他自分の部屋作りがされている。鏡台や椅子、花柄の布団、テレビ等個々に対応している。家族の面会時は部屋の模様替えをするなどしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 生活空間はバリアフリーになっており、風呂・トイレには表示をし、居室の入り口には顔写真を貼って混乱しないような工夫を行っている | | |